

# 骨検査問診票

整理番号

(こちらで記入します)

名前・年齢・体重 (キログラム)・身長 (センチメートル) を記入して下さい。  
5番以降は、該当する方(「はい」か「いいえ」)に○を付けて下さい。  
\* 印の項目は、裏面を参考にして下さい。

フリガナ

1. 名前： TEL：  
住所：〒
2. 年齢： 才
3. 体重： キログラム
4. 身長： センチメートル
5. 成人してから骨折した： はい ・ いいえ
- 6.\* 大腿骨(太ももの骨)を骨折した両親がいる： はい ・ いいえ
7. 現在タバコを吸っている： はい ・ いいえ
- 8.\* 糖質コルチコイド薬を飲んでいる： はい ・ いいえ
9. 関節リウマチである： はい ・ いいえ
- 10.\* 続発性骨粗鬆症である： はい ・ いいえ
- 11.\* 毎日お酒を飲む： はい ・ いいえ
12. 飲んでいるサプリがあれば○をつけてください  
カルシウム剤 ビタミンC ビタミンD  
ブルーベリー類(アントシアニン)  
ポリフェノール類(わかればサプリ名)
13. 去年、この調査に同意し骨検診を受けましたか： はい ・ いいえ
- ① 骨検診結果は異常なかった  
② 精密検査を受けていない  
③ 精密検査を受けたが異常なかった  
④ 精密検査を受け異常範囲であったが経過観察となった  
⑤ 精密検査を受け投薬治療を受けている
14. その他、今までに骨密度測定をしたことがある： はい ・ いいえ  
(はい)の方におたずねします。どの部位で測定されましたか  
○をつけてください

腕 手 指 かかと 腰椎骨 大腿骨

## 【記入の注意】

- ・(6) 両親の大腿骨近位部骨折歴

父あるいは母に大腿骨近位部（足の付け根）の骨折歴があれば「はい」に○をしてください。

- ・(8) 糖質コルチコイド薬の服用

1. 糖質ステロイド（コルチコイドやステロイドなどホルモン剤）の経口投与を受けている場合
2. 3ヶ月以上、5mg以上のプレドニゾロン（あるいは、等量の他の糖質ステロイド）の経口投与を受けたことがある場合

- ・(10) 続発性骨粗鬆症である

骨粗鬆症と強い関係がある疾患があれば、「はい」に○をして下さい。

この疾患には、I型糖尿病（インスリン依存性糖尿病）、成人での骨形成不全症、長期にわたり未治療であった甲状腺機能亢進症、早発閉経（45歳未満）、慢性的な栄養失調あるいは吸収不良、慢性肝疾患が入ります。

- ・(11) アルコールの摂取

毎日、多量に飲酒している人は○をしてください。

ビール：大ビン3本以上

日本酒：3合以上

焼酎：2合以上

ワイン：1／2本以上

# 骨密度測定のための問診票

受付No. \_\_\_\_\_

※問診票の太枠内の箇所(氏名・住所・電話番号・生年月日・身長・体重・問診)等を記入してください。

		国 70↑ 非課税			
フリガナ		住 所	東浦町大字 字		
受診者 氏名			TEL : 0562 ( )		
生年月日	M・T・S 年 月 日 ( 歳)	足の大きさ	cm	性 別	女
団体名	東 浦 町	身 長	cm	体 重	Kg

★ 該当する項目に○をつけてください。

問1 今までに骨密度測定をしたことがありますか。

(1) ある・・・前回 ( 年前)

・ その時の結果はいかがでしたか。  
(異常なし・要経過観察・要精密検査)

↓

・ 要精密検査の方におたずねします。  
病院で精密検査を受診されましたか。  
① はい  
(異常なし・定期的に検査中・内服治療中・治療終了・治療中断中)  
② いいえ

(2) ない

問2 現在、規則的に生理がありますか。

(1) ある

(2) ない ① 閉経した(閉経年齢 歳)

② その他 ( )

問3 出産経験はありますか。

(1) ある ( 回)

(2) ない

問4 今までに、骨折したことがありますか。

(1) ある ( 部位 )

(2) ない

《裏面もご記入下さい》

該当する方（「はい」か「いいえ」）に○を付けてください。  
\*印の項目は、別紙の「記入上の注意」を参考にしてください。

- 問5 成人してから骨折した： はい ・ いいえ  
(はい)の方におたずねします。  
(骨折した年齢 才) (部位 )  
(原因・・・事故 転倒 その他 )
- 問6 \* 大腿骨(太ももの骨)を骨折した両親がいる： はい ・ いいえ
- 問7 現在タバコを吸っている： はい ・ いいえ
- 問8 \* 糖質コルチコイド薬を飲んでいる： はい ・ いいえ
- 問9 関節リウマチである： はい ・ いいえ
- 問10 \* 続発性骨粗鬆症である： はい ・ いいえ
- 問11 \* 毎日お酒を飲む： はい ・ いいえ
- 問12 若い頃より身長が低くなった： はい ・ いいえ  
(はい)の方におたずねします。(若い頃の最大身長 cm)
- 問13 飲んでいるサプリがあれば○をつけてください  
カルシウム剤 ビタミンC ビタミンD  
ブルーベリー類(アントシアニン)  
ポリフェノール類(わかればサプリ名 )
- 問14 この調査(H21~22年度)による尿の骨検診を受けたことがありますか：  
はい (検診結果は次のどれに該当しますか)  
① 骨検診結果は異常なかった  
② 経過観察だった  
③ 要精密検査だったが精密検査は受診していない  
④ 精密検査を受けたが異常なかった  
⑤ 精密検査を受け異常範囲であったが経過観察となった  
⑥ 精密検査を受け投薬治療を開始した  
⑦ 以前より投薬治療を受けている  
いいえ

**骨検診の結果**

検診番号

氏名 \_\_\_\_\_ 様

検査項目	今回	前回	前々回
	年 月 日	年 月 日	年 月 日
尿 $\gamma$ -GTP	IU/g.Cre	IU/g.Cre	IU/g.Cre
基準値	50.9未満		

判定

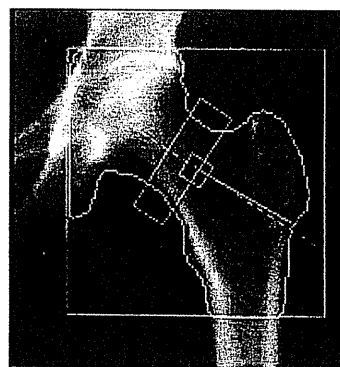
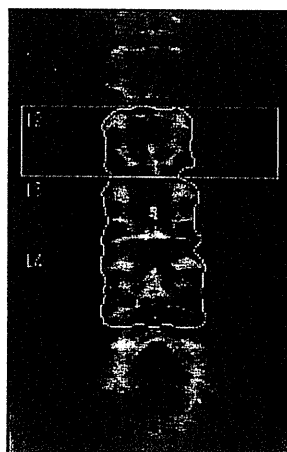
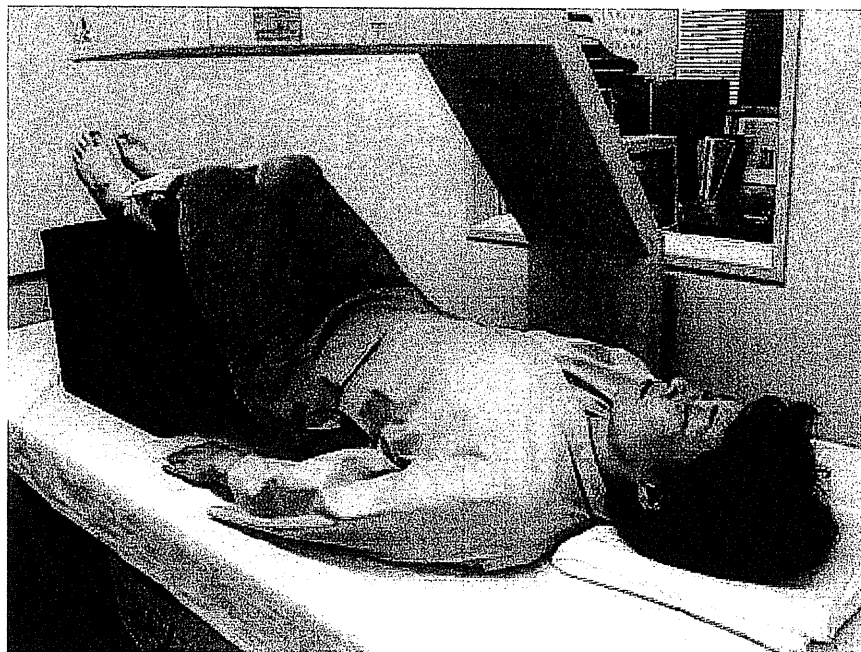
- 今回は特に問題はありませんでした。
- 要観察(現在の骨密度を測定して、骨折予防に役立てる事をお勧めします)
- 骨吸収が亢進(骨量が減る)状態にあります。(最近、精密検査を受けられてない方は、正確な診断のため医療機関で精密検査を受ける事をお勧めします)

問い合わせ・相談先: 国立長寿医療研究センター <sup>にいた</sup>新飯田俊平  
☎ 0562-46-2311(代表)

国立長寿医療研究センターで検査をご希望の場合は、一度当院の骨粗鬆症外来(月・火・木の午後)または整形外科を受診の上、精密検査の予定をご相談下さい。  
診察の予約は0562-46-2547まで。 受付時間は午後1時から4時まで。

\* 精密検査などの二次検査には費用がかかります。

## 骨密度測定の様子



DXA法（二重エネルギーX線吸収測定法）は、エネルギーレベルの異なる2種類のX線の透過率差を利用して測定する精度の高い骨密度測定法です。この方法で、骨折率の高い腰椎や大腿骨頸部の骨密度を正確に測定しています。

測定時間は、腰椎約1分、大腿骨頸部片側約1分、全身約6分と比較的短く、放射線の被ばく量（実効線量等量）は、一番被ばく量の多い全身測定でも胸部X線撮影時の約1/10程度です。

この用紙は医療機関受診の際に主治医の先生にご提出ください。

主治医先生 御机下

日頃より大変お世話になっております。

このたび、私共は厚生労働省長寿科学総合研究事業の一環として、住民の方々を対象に「尿 $\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼによる骨粗鬆症一次スクリーニング法の有効性試験」を実施しております。

本研究では、骨検診後の受診行動および本検査法の有効性について調査を進めておりますが、本紙を持参し、貴院を受診された方々につきましては、誠にお手数とは存じますが下記「受診連絡票」にご記入の上、本紙を FAX にて返信頂ければ幸甚に存じます。

ご多忙のところ恐縮でございますが、何卒よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

研究代表者 国立長寿医療研究センター 新飯田俊平  
連絡先 0562-46-2311 (内線 5901)  
F A X 0562-46-8594  
(郵送の場合) 〒474-8522 大府市森岡町源吾 35

### 受診連絡票

受診者氏名 (#検診番号) : \_\_\_\_\_ 様 (# \_\_\_\_\_ )

- 診断  異常なし  
 骨量減少症  
 骨粗鬆症

検査結果

	大腿骨頸部	腰椎(L ~ )
BMD	_____ g/cm <sup>3</sup>	_____ g/cm <sup>3</sup>
対 YAM 比	_____ %	_____ %
T-score	_____	_____

投薬予定      あり ・ なし

病院／医院名  
医師ご芳名

# ご協力ありがとうございました。

新検査法性能試験ご参加のみなさまへ

この度は新骨検診法の性能試験（厚生労働省科学研究事業）にご協力頂きありがとうございました。

わが国の高齢者の年間骨折件数は年々増え続けています。高齢での骨折では、そのまま寝たきりになるケースも少なくありません。私たちは、骨折の誘因となる骨粗鬆症を少しでもはやく発見する方法として今回の検査法について調査しております。

そこで、この検査法の効果を確認するために、検診案内時の説明書でもお願いしましたが、検診後の受診者のみなさまの受診行動等について追跡調査させて頂く場合がありますので、ご協力をお願い申し上げます。

方法は、郵送によるアンケート調査が主体となると思いますが、電話による聞き取りを行うこともあります。また、骨の変化は長い時間を要しますので、調査期間も3年くらいになる場合があります。

高齢者の骨折の多くは、早期発見、早期治療で未然に防げると考えられています。これからも骨健康を維持し、いつまでも元気に活動できるよう、みなさまの健康長寿を祈念いたしております。

厚生労働省長寿科学総合研究事業  
研究班代表  
国立長寿医療研究センター 新飯田俊平



---

骨粗鬆症の尿スクリーニング検査の費用対効果に関する研究  
総合研究報告書および平成23年度総括・分担研究報告書  
(H21 - 長寿 - 一般 - 010)

---

平成24年5月 発行

研究代表者 新飯田俊平  
厚生労働科学研究費補助金

